

インフルエンザワクチン「フルミスト®」のご案内

■フルミスト®の接種ができない方

- ・ 2歳未満の方、19歳以上の方
- ・ 発熱がある方
- ・ 重篤な急性疾患にかかっている方
- ・ インフルエンザの成分（鶏卵、ゲンタマイシン、ゼラチン、アルギニン）に対して重度のアレルギーがある方
- ・ 免疫不全の方や免疫不全の方と接触する可能性が高い方
- ・ アスピリンを服用している方
- ・ 4週間以内に「生ワクチン」を接種している方
- ・ 妊娠している方また、その可能性が高い方
- ・ 喘息の治療を行っている方、または、1年以内に喘息の発作があった方
- ・ 慢性疾患（心疾患、肝疾患、腎疾患、糖尿病、貧血、嚥下困難や呼吸障害を伴う神経疾患、免疫不全など）のある方
- ・ その他、医師が接種不相当と判断した方

■フルミスト®が優れている点

- ・ 通常インフルエンザウイルスが侵入する経路となる鼻腔で免疫を作るため、高い発症予防効果が得られる
- ・ 活性を低下させたウイルスで免疫を作るため、流行しているインフルエンザと異なる株に対しても軽症化してくれる
- ・ 2歳～7歳で特に有効といわれている。
- ・ 鼻腔内に噴霧するため、疼痛刺激が少ない
- ・ 効果持続が長い

■フルミスト®の注意すべき点

- ・ 接種後、軽い感冒様症状（鼻水咳など）を、約50%の方で認めます。
また、微熱を含めて発熱を約10%の方で認めます。
- ・ 接種後に発熱や風邪症状が続く場合は受診して下さい。症状の程度により、抗インフルエンザ薬を投与する場合があります。
- ・ フルミストを接種した病院と違う病院に行く場合、受診する際は必ずフルミストを接種したことを伝えて下さい。
- ・ 接種後1～2週間は乳児や重度の免疫不全の方との接触を可能な限り控えて下さい。
- ・ 注射型のワクチンと比較してメリットだけがあるワクチンというわけではないことをご理解いただき、フルミスト接種をするかの最終判断は保護者・本人で行っていただきますようお願いいたします。

丹羽内科 院長